

双九会

日本大学医学部同窓会は、「同窓の懇談」「学生支援」「医学部支援」の三つを基本方針に掲げ、私たち学生を常に温かく見守ってくださる組織です。

私たち第99回卒業生は、この度、同窓会名を「双九会（そうきゅうかい）」と命名いたしました。この名には、九十九回の「九」にちなみ、「苦（九）を共に乗り越え、双（ふた）つの手を取り合う」という決意を込めております。私たちの歩みは、2020年、新型コロナウイルスという未曾有の事態とともに始まりました。入学直後から授業の多くがオンライン化され、部活動も休止。キャンパスに集うことさえ叶わず、先輩方や同級生との繋がりを築けない日々が続きました。まさに「苦難」の中でのスタートでした。しかし、そのような逆境にあっても、学年担任の先生方をはじめ教職員の皆様は、私たちのために奔走してくださいました。「少しでも学びを止めないように」「学生同士の絆を途絶えさせないように」と懸命に環境を整えてくださったおかげで、私たちは最も困難とされる低学年次の課程を無事に進級することができました。

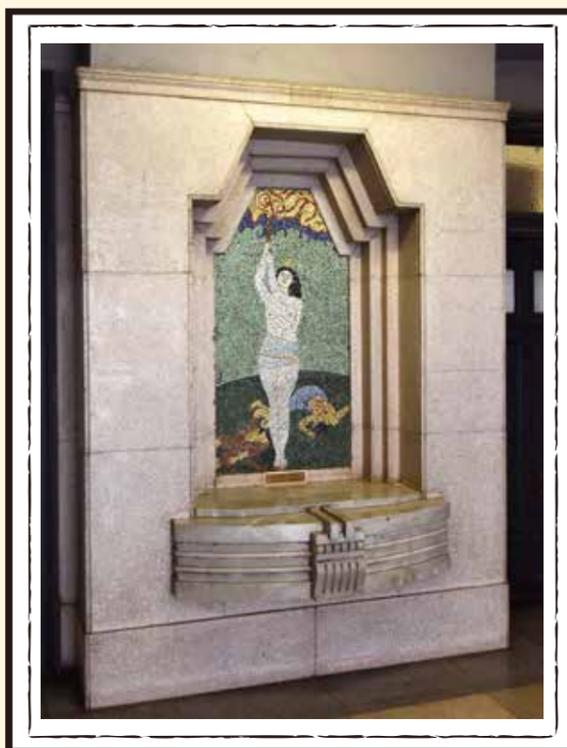
3・4年次には、臨床現場の第一線で活躍される先生方から、熱意溢れるご指導をいただきました。先生方が多忙な業務の合間を縫って工夫を凝らしてくださった講義のひとつひとつが、現在の私たちの知識の礎となっております。

さらに5・6年次には、医師国家試験に向けた模擬試験費用の寄付をはじめとする多大な学生支援を賜りました。経済的・精神的な支えがあったからこそ、私たちは全員で国家試験という大きな壁に立ち向かい、乗り越えることができました。今日、私たちが無事に卒業の日を迎えられたのは、日本大学医学部という温かな共同体の支えがあったからに他なりません。

今後は「双九会」の名に恥じぬよう、初期研修に全力で取り組み、知識と研鑽を積み重ねてまいります。そして、これまで支えてくださった皆様への恩返しとして、いつか多くの人々の命と心を支えられる立派な医師となることを誓います。最後になりますが、慈しみ育ててくださった諸先生方、職員の皆様、そして同窓会の皆様に、卒業生一同、心より深く御礼申し上げます。

医学部で友人と過ごした時間、部活動に打ち込んだ経験、苦勞して覚えた知識。全て、これからの医師生活に生きると信じています。後輩のみなさんは、学生生活を全力で楽しんでください！病院で待っています！

川村英太郎



実習や試験に追われつつ、知的好奇心も大切に過ごした6年間は最高の宝物です。この学年の一員として皆と支え合えたことを誇りに思います。進む道は様々ですが、いつか現場で尽力し合える日を楽しみにしています！

田中里奈

家族、友人、先生方など多くの方々に支えられながら過ごした6年間は、何物にも代えがたく幸せな時間でした。これからも周囲への感謝を忘れずに、楽しく邁進していきます！

藤山勇大楼



通学や労働、睡眠不足に追われ誰より泥臭く足掻いた6年間でした。皆様への感謝を胸に、最短合格を掴んだ姿が同じ境遇の方の光になれば幸いです。頑張れば道は拓けます。感謝を忘れず、誠実な医師への成長を誓います。沢山のご声援をありがとうございました！今後ともよろしくお願いいたします。

大下愛美

